

年頭のご挨拶

明日への祈りと覚悟

院長 濱崎尚文

新年おめでとうございます。

智頭病院長

としての願いは、町民の皆さんの健康と幸せです。

しかし、加

齢により身体機能の低下は避けられません。ゆえに、現状を知り、早目に対応を図ることは大切です。



さて、国の「地域医療構想」や「地域包括ケアシステム」は住民の皆さんには実感が伴わないかと思います。いっしょに考えてみましょう。

国は病院の機能・病床を「高度急性期・急性期・回復期・慢性期」に区別し、病状に相応しい病床で医療を提供することを求めています。「地域医療構想」は医療費削減、入院病床削減のための方策で、入院基準が厳しくなります。

つまり、「在宅生活・介護が困難だから入院したい」との旧

来的な希望はかたないません。

病状が入院適応にそぐわない場合は、介

護施設への

入所か支援

を受けての

在宅生活と

なります。

では、「生

活支援のための入院ができないなら、介護施設に入所したい」

の願いはどうでしょうか？

介護施設に入所するにも経費

がかかります。経済的な困難性

や、空き部屋がないために介護



「地域包括ケアシステム」国の方針

○ 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を実現していきます。

○ 認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、「地域包括ケアシステム」の構築が重要です。

○ 高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。「地域包括ケアシステム」は、保険者である町や県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。

施設に入所できない場合はどうしましょう・・・。

国は「希望すれば」、最後まで、

住み慣れた地域・自宅で過ごす

ことのできる仕組み」として「地

域包括ケアシステム」の構築を

唱えています。

しかし、入院治療の対象でな

い要介護の人が、介護施設に入

所できず、かつ、自宅での生活

が困難な場合はどうでしょう。

結果的に、本人・家族が「希

望しない」のに、地域・在宅で

の生活」を強いられる結果にな

ります。

家庭の事情は様々です。独居

の人、老々介護の人など、すべ

ての家庭が十分な家族介護力を

持っているわけではありません

ん。

繰り返しになりますが、要介

護・生活支援を目的とした智頭

病院への入院が出来ない現状に

なっています。

病状からは在宅介護が可能だ

が、一方、家族介護力が十分で

ない場合と、施設介護が必要だ

が経済的理由で入所できない人

をどうするのか？

入院・入所できない人は「希

望しない」のに、また、つらく苦しくても、最後まで自宅で過ごさなくてはいけない時代がやってきます。

一人ひとりの町民の皆さんの覚悟と、隣近所や親戚・友人同士の具体的な助け合いの仕組みが必要になります。

決して他人事ではなく、自分のこと・家族のこととして、具体的な対応策を早めに構築することになります。

つまり、

今・今から

の視点を

大切に、町

行政と協働

し、本町の

特性を活か

した生活支

援の体制づくりが大切です。

これからの日本は、それぞれの地域の「地域力」が問われる、

厳しい時代を迎えます。「自分

たちの地域は自分たちで守る」

覚悟が必要です。

智頭町・町民の底力が活かさ

れることを祈ります。

智頭病院も、職員一同、しっ

かりと取り組みます。



連載 ♪ 第 12 回



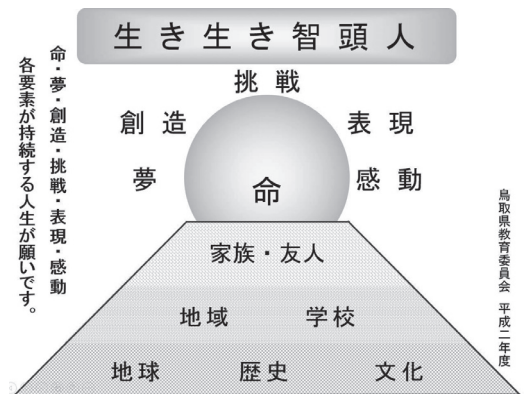
小児科 大谷恭一

## 幸せを育む大脳(下)

「生き生き智頭人」のモデル図です。

太陽のような〇が個人です。命を大切に、夢を抱き創造・挑戦し、多様な表現をし、感動をすることが人生の願い・目標になります。

個人を支えているのが家族・友人で、土台に地域・学校があり、根底には地球・歴史・文化に支えられている。原図は「いきいき鳥取っ子」のイメージで、県教育委員会社会教育課（当時）で、大学教授などと医師では私が参加し、五人で整えました。大人こそ大切にして欲しい図です。私は自身の生涯学習の指針として、今でも大切に、活かしています。四半世紀を経て輝いている図です。



命は中心的な要素！

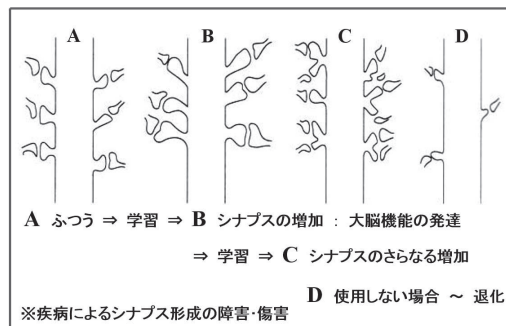
そう、受精卵から始まった命で、この世に生まれ、育ち、智頭で暮らしている今があります。数十兆の細胞が、私たちの体を形作り、機能し、生きている事実感謝すること、健康を大切にすることは根幹です。そして、大人・高齢になっても、ささやかでも良い、実現可能な夢を抱き続けることも願いで、子どもたちにも示すのです。

いろいろな創造し、挑戦していくことも！

そして、いろいろな方法で表現をするのネ。

日の出や湧き上がる雲を美しいと思い、一人で感動する心があり、また、仲間と力を合わせて達成した際などの感動もあります。自身、六つの要素が循環している事実、感謝至極です。

シナプスは学習で変化（発達・退行）する！



学習する内容・質は？！ 学習への意欲は？！

生き生きは、大脳のシナプス（神経細胞のネットワーク）の育ち方が重要なネ。どんな要素を学習して行くのかは、常に二者択一で選択することになります。

テレビ等を見るか、消すか、食行動などもそうです。人生は、失敗が多々あります。失敗をバネにして、幸せに向けて日々生活しているのです。

## 幸せな人生とするヒント 自他への祈り・許し

今・今からを大切に、（過去にとらわれないで、）  
達成可能な方法論を展開することです。

あらゆる問題は  
その人がそうせざるを得なかった  
との認めにたつことが大切です。  
（立つ・発つ）

「あらゆる問題は、その人（関わる人、自分自身）がそうせざるを得なかったとの認めにたつことが大切」で、過去・歴史には学び続けます。人生では「今・今からを大切に、達成可能な方法論を展開すること」が、幸せな人生とするためのコツなのです。単純には、家族・仲間との関係性などで、「ありがたう・ステキだ・うれしい」を、大脳に定着させることです。「幸せな人生とするヒント」を大切にしま〜す！

ご意見・感想をお寄せください。（智頭病院 総務課）

問合せ先

国民健康保険智頭病院 総務課

☎ 75-3211